

消費者安全調査委員会の動き 第35号

(平成28年3月18日)

今回の内容：会議情報

会議情報

最近の消費者安全調査委員会での議論についてお知らせします。

第42回消費者安全調査委員会（平成28年3月18日）

- エレベーター事故
報告書作成に向けた骨子について事務局から説明を受け、部会での議論を踏まえつつ、審議しました。骨子を基に、報告書の素案作成を進めることになりました。
- 体育館等の床から剝離した床板による負傷事故
- 家庭用コージェネレーションシステム
それぞれ担当専門委員や事務局から、調査の経過と今後の予定について報告がありました。
- 軽井沢スキーバス事故
本件事故後の国土交通省の主な対応、軽井沢スキーバス事故と関越道高速ツアーバス事故との対比等について事務局から説明を受けました。議論の中では、
 - ・4年前に関越道で発生したバス事故と同じ経緯で発生したのではないか、
 - ・調査委員会は、消費者の立場から、安全確保のための対策を考えなければならない。再発防止の観点から、軽井沢スキーバス事故については、背景要因を含めて、関越事故後の対策及びその実施状況や事業の態様等について検討しなければならないという意見が出されました。事務局でそのための準備を整えてまいります。
- 一般の方からいただいた「申出」事案
事務局から、類似事例、制度等の関連情報や専門委員の見解などの情報収集の結果が報告され、その内容に基づき調査委員会で検討した結果、そのうち1件については調査を行わないことになりました。残りの案件（42件）については、引き続き、臨時委員、専門委員等の知見も活用しながら、事務局で丁寧に情報収集を行った上で調査委員会において判断していくこととなります。

部会の動き

- 工学等事故調査部会（3月上旬に開催）
 - ・家庭用コージェネレーションシステム：運転音の現地調査の状況とリスク低減策について、担当専門委員から説明を受け、リスク低減策について議論しました。
 - ・ハンドル形電動車椅子：事故発生場所の現地調査や使用実態調査の分析について、事務局から説明を受け、事故要因について議論しました。
 - ・エレベーター事故：（消費者安全調査委員会と同様）
- 食品・化学・医学等事故調査部会（3月中旬に開催）
複数の注目すべき事案について、事務局から情報収集結果の説明があり、議論しました。いくつかの事案について、さらに情報収集を進めることになりました。